

1 教育目標		「夢を拓く」～学ぶ喜びを分かち合う生徒～					
2 評価項目		数値は学校評価アンケートの回答平均値(「とてもそう思う:4点×回答者数」+「ややそう思う:3点」+「あまり思わない:2点×回答者数」+「全くそう思わない:1点×回答者数」)÷全回答者数					
領域	評価項目	達成目標	取組状況・成果・課題	評価	改善策	学校関係者評価委員の意見	
1	重点目標	① 学ぶ意欲を育てる	2学期末学校評価(生徒アンケート)の学習に関する質問項目「あなたは授業中しっかりと話を聞き、考えることができましたか。」の全校平均を前年度3.31→3.35以上。	1学期が3.32、2学期が3.28であった。3.28は、過去3年間で最も低い値となっている。「話しを聞く」については意識して指導してきたので、できていると思われるが、「考える」までには至っていないと考えられる。来年度の課題としたい。	C	道徳の指定研究もあり、伊豆の国市の重点内容でもあるので、「話を聞く」については、意識して指導してきた。朝礼、集会等は顔を上げて落ち着いて聞くことができるようになった。じっくり考える場面の設定や、時間の確保等、授業力向上の研修を進め、向上させていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価が下がったことについては、自己評価が厳しくなったと言うことは事実かも知れない。9年前に民生委員をやっていたところと、今日授業を参観して比べても、学ぶ意欲が下がっているようには決して見えない。</li> <li>・学校を参観して、先生方の「やろう」という姿勢が見られた。生徒の表情も良く、道徳の成果が表れている。</li> <li>・数値で示してくれているが、もう少し具体的に、何が下がったのかを見ていくことが大切。</li> <li>・他の下がった項目にしても、具体的にみていくと上がっているかもしれない。</li> <li>・上がっている項目は、具体的な観点が多い。</li> <li>・具体的な評価をしていくと、他の内容についても影響し、どんどん広がっていく。</li> </ul>
		② 思いやりのある心を育てる	2学期末学校評価(生徒アンケート)の質問項目「あなたは他の人に思いやりのある言動ができましたか」の全校平均を前年度3.32→3.35以上	「あなたは他の人に思いやりのある言動ができましたか」の全校平均は3.24で前年度平均を0.08下回り、目標の3.35に0.11届かなかった。	B	道徳の重点指導項目として取り組んできた内容であるが、「思いやり」の数値が下がっている原因として、「思いやり」の捉え方が深くなり、自己評価が厳しくなったことが考えられる。特別活動と連動した取組で育てていきたい。	
		③ 健やかな心身を育てる	2学期末学校評価(生徒アンケート)の質問項目「あなたは規律正しく健康や安全を考えた生活ができましたか」の全校平均を前年度3.49→3.5以上	「あなたは、規則正しく健康的な生活ができましたか」の全校生徒平均は3.29で前年度を0.2、目標値を0.21下回った。	C	保健体育や部活動でのけがが相変わらず減らない。教師の管理下での指導を強化すると共に、規則正しい生活ができるよう、家庭とも協力して指導していく。	
2	教育課程学習指導	① 家庭学習の充実	2学期末学校評価(生徒アンケート)の家庭学習に関する質問項目24.27の全校平均を前年度3.08→3.1以上	2項目の全校平均は、3.12で前年度を0.04、目標値を0.02上回った。目標は達成できたと考ええる。	A	毎日の家庭学習の未提出者を、昼休みや放課後に指導した成果と考える。今後、授業や定期テストなどに生かすことができる、意味のある家庭学習を工夫することにより、更に伸ばしていきたい。家庭とも連携して、更に力を入れていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔から読み書きそろばんと言うように、書くことはとても大切。最近は、パソコンなどで簡単に文字が入力できるが、書くことはできているのか。</li> <li>・けがが減らないとあるが、どういったけがが多いのか。部活動のけがの原因は何か。</li> <li>・図書室は立派だったが、学級の棚は貧弱だった。その辺を充実させると読書量も増えるのではないかな。</li> <li>・読書は大切。読解力が向上し、考える力につながっていく。</li> <li>・ノーメディアデーに家庭と連携して読書をすることもできる。</li> <li>・開館時間などを工夫してみてもどうか。</li> <li>・学校の問題ではないが、市の図書館の開館時間を長くするとか、いろいろなところに声を出していったらどうか。</li> <li>・市の図書司書を活用するなど、市と連携していったらどうか。</li> <li>・読み聞かせ、貸出量が向上する取組を。</li> </ul>
		② 読書活動の充実	2学期末学校評価(生徒アンケート)質問項目「本を読むことが好きですか」の全校平均を前年度3.23→3.3以上。	「本を読むことが好きですか」の全校平均は3.12で、前年度を0.11、目標値を0.18下回った。	C	図書の貸出数も昨年度と比べて減少している。朝読書の時間を設定したり、読み聞かせを定期的に行ったりして指導しているが、減少しているのが現状である。委員会の活動や開館日を工夫するなど改善したい。	
		③ 学習環境の整備	2学期末学校評価(生徒アンケート)質問項目「1分前着席を意識して行動できましたか」の全校平均3.52→3.55以上。	「1分前着席を意識して行動できましたか」の全校平均は3.53で前年度とほぼ変わらなかったが、目標値を0.02下回った。下回った数値も少なく、もともと、高い数値なため、概ね達成できたと考ええる。	B	学習委員会や各学年委員会の取組で、1分前着席に限らず、学習環境の向上に向けた活動を独自によく行っていた。その成果と思われるが、今後も向上に努めたい。	
3	生徒指導	① 規範意識の浸透	2学期末学校評価(生徒アンケート)の生活に関する質問項目3、4、5、6の全校平均3.56→3.6以上。	4項目の平均値が3.48で、前年度を0.08下回った。「あいさつ」「身なり」「言葉遣い」「時間」についての項目だが、すべての項目で下がっている。	B	数値は下回ったものの、高い水準を保っている。指導部と連携しながら、油断せず指導していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感の向上は本校の課題でもあり、意識して指導してきた内容である。目標の数値は上回らなかったものの、わずかながらではあるが、毎年向上してきている。家庭とも協力して更に向上させていきたい。</li> </ul>
		② 自尊感情の涵養	2学期学校評価(生徒アンケート)の評価項目「あなたは仲間や学級において自分が必要とされる存在ですか」の全校平均を前年度2.84→3.0以上	「あなたは仲間や学校に自分が必要とされる存在だと思えますか」の全校平均は2.85で、前年度を0.01上回り、今年度の目標値には届かなかった。	B		
		③ 共感的な人間関係の構築	2学期学校評価(生徒アンケート)の評価項目「あなたは級友と仲良く過ごすことができましたか」の全校平均を前年度3.64→3.7以上	「級友と仲良く過ごす」の全校平均が3.59と前年度より0.05下回り、目標の3.7を0.11下回った。	B	目標値を下回ったものの、高い水準を保っている。不登校、心の相談室で生活している生徒の数が減ってはいるものの数名いるのも事実である。「思いやり」「自己肯定感の向上」とともに、引き続き意識して指導していきたい。	
		④ 清掃活動の充実	2学期学校評価(生徒アンケート)の評価項目「あなたは清掃活動に一生懸命取り組みましたか」の全校平均を前年度3.53→3.6以上	全校平均3.49であった。前年度より0.04下回り、目標値より0.11下回った。	B	今年度から、新たに「黙動清掃」に取り組んでいるため、評価が下がっていると思われる。黙動清掃の様子は悪くなく概ね良好である。家庭とも協力して更に伸ばしていきたい。	

1 教育目標		「夢を拓く」～学ぶ喜びを分かち合う生徒～					
2 評価項目		数値は学校評価アンケートの回答平均値(「とてもそう思う:4点×回答者数」+「ややそう思う:3点」+「あまり思わない:2点×回答者数」+「全くそう思わない:1点×回答者数」)÷全回答者数					
領域	評価項目	達成目標	取組状況・成果・課題	評価	改善策	学校関係者評価委員の意見	
4	健康安全指導	① 自らの健康管理	健康診断の治癒勧告書の返却率前年度63%→70%以上	治癒勧告書返却率は67.5%であった。昨年度より3.5ポイント上回り、目標値を2.5ポイント回った。	B	学校からの勧告の方法を一層工夫するとともに、健康管理に関心を持てるよう、個に応じた具体的な治療計画を立てるなど、支援する対策を講じ、家庭との連携を強化していく。	・インフルエンザが今年は流行ったそうだが、学校だけでは難しいだろう。具合が悪いと分かっているにもかかわらず保護者もいる。家庭と上手く連携していかないといけない。
		② パソコン・携帯電話の正しい使い方	2学期末学校評価(生徒アンケート)質問項目「あなたのパソコンや携帯電話でのネットの利用は、適度な時間ですか」の全校平均を前年度2.55→2.6以上	「あなたのパソコンや携帯電話でのネットの利用は、適度な時間ですか」の全校生徒平均は2.74で昨年度を0.19上回り、目標値を0.1上回った。	B	操作時間は減っているものの、携帯電話等の使い方の問題でトラブルが起きている。携帯等の使い方の講演や、指導を行ったり、保護者へ呼び掛けたりしているが、更に、PTAとの連携や、外部機関との協力体制に力を入れたい。	・予防接種の環境を整えることはどうか。 ・「分かりやすい授業…」の項目の数値が上がっているのがすばらしい。とてもうれしく思う。道徳性も実はここで一番育つ。 ・先生方が、研究発表に向けていろいろ勉強をしている。その成果がいろいろなところで表れているのではないかな。
5	特別支援教育	① 校内支援体制の確立	困り感をもった生徒を洗い出し、その対策について、全職員で共通理解する。	困り感をもった生徒を全職員で見直し、その対策について、検討した。保護者にも協力を得て、多くの生徒が外部機関と関わり対策を進めた。	B	校内の支援体制は、ユニバーサルデザインの具体化に取り組み、整備されつつある。より専門的な知識を得るなど、我々教師が研修を積んでいくと共に、どの生徒にも優しい学校を目指していきたい。	・学力がないと、道徳性も育ちにくい。 ・防災訓練の数値が低いだが、この数値以上に生徒たちは出席している。訓練がマンネリ化していて、参加する意味を感じないことも原因しているのではないかな。我々が考えなければいけない。
6	組織運営	① 連携協力を意識した組織運営	2学期末学校評価(教職員自己評価)質問項目「職員相互の連携協力により、組織的・機動的な指導体制がなされているか。」の平均を前年度3.13→3.2以上	「指導についての共通理解がなされ、全職員が一枚岩となった対応が図られている。」の全職員平均が3.29であり目標値を上回った。	A	道徳教育の充実に向けて、研修に取り組んできたことが大きな要因と言える。他の活動においても、連絡調整を行い、組織的な体制づくりを更に進めていきたい。	・大仁中学校は地域によく貢献している。 ・保護者が遠方に働きに出ていて、有事の際には、帰ってこれない。そんなことを考えると、中学生は大きな戦力と考えている。どのように参加させるかを考えている。
7	研修	① 道徳教育	質問項目「研修テーマを意識して、道徳の授業を進めた。」の全職員平均3.17以上。	質問項目「研修テーマを意識して、道徳の授業を進めた。」の全職員平均が3.67であり、目標値を大きく上回った。	A	研究発表に向けて、一致団結し努力してきた成果と考える。研究指定は終わるが、これまでの研究成果を更に発展させ、道徳科実施に向けて研修を進めていきたい。	・参加した子どもたちが、来て良かったと思えるような活動を考えていきたい。 ・先生方の長時間労働が気になるが、大仁中学校はどうか。 ・健康、家庭の面からも労働環境を考えていく時代である。
		② 「わかる授業」の創造	2学期末学校評価(生徒アンケート)質問項目「先生たちは、わかりやすい授業をしてくれますか。」の全校平均を前年度3.25→3.3以上	質問項目「先生たちは、わかりやすい授業をしてくれますか。」の全校平均が3.38であり、目標値を上回った。	A	目標値を上回ったものの、「わかる授業」を学校経営目標のトップに掲げており、3.38という数値は決して高いとは言えない。道徳の研修以外に、指導主事訪問等の機会を捉え、専門教科の研修を進めていきたい。	・教員の働き方にも、改善やケアの必要を感じる。仕事量の負担も考え、ワークライフバランスを考えてほしい。
8	家庭地域連携	① 保護者との連携	2学期末学校評価(保護者アンケート)質問項目「大仁中学校は、保護者と連携して生徒を育てている。」の全校平均を前年度2.94→3.0以上	「大仁中学校は、保護者と連携して生徒を育てている。」の全校保護者平均が3.15で、昨年度を0.21、目標値を0.15上回った。目標は達成できたと考える。	A	目標値を上回ったものの、3.15という数値は決して高くない。各種便りを充実させたり、アンケートの結果等を参考にしたりしながら、更なる向上を目指していきたい。	
		② 地域活動への生徒参加	地域の防災訓練や行事に参加している生徒が前年度8月が67.8%、12月が75.1%→80%以上	9月総合防災訓練68.5%、12月地域防災訓練66.1%であった。目標値に大きく及ばなかった。地域ボランティアには積極的に参加し、地域に貢献している。	B	出席表の提出状況で図っているので、実際はもう少し高いと思われるが、何らかの対策が必要と考える。地区生徒会を活用するなどして、参加率を高めていくとともに、現場での積極的な活動を促していきたい。区長会、家庭と連携して指導を進めていく。	
9	施設整備	① 施設の安全管理・整備	毎日、校舎内外の点検を行い、破損箇所は速やかに修繕する。	毎日、日直教頭が目視点検を行い、事務室、安全担当との連携を取り、破損箇所については、速やかに対応できた。	A	新築7年を経過して、問題が発生している箇所も出てきている。早期発見、早期対応を今後も心掛けていきたい。	
		② 園芸管理・整備	花壇に常に花が植えられている状態を作る。	植え替えの時期以外は、ほぼ花が植えられている状態を保つことができた。	A	多くの教師、用務員さん、生徒と協力して整備ができています。今後も継続していきたい。	